

令和5年8月21日（月）宿泊（利用）分からの 山荘トイレ協力金の変更について

登山愛好の皆様方には益々ご清祥のことお喜び申し上げます。

ようこそ幌尻山荘へ。幌尻岳への登頂にあたり、山荘の予約、渡渉などなにかと困難の多い額平川からのルートを選び、はるばるこのような到達困難地まで足を運んでいただいたことに感謝申し上げます。

さて、早速ではありますが、私ども平取町山岳会では、幌尻山荘を所有する平取町からの委託を受け、山荘の管理を行っておりますが、近年登山者の皆さんが登山中に行う排泄物の処理が大きな問題となっております。これまで山荘には山荘内に貯留式1基、山荘外にバイオトイレ1基、仮設貯留式トイレ2基を設置してきましたが、貯留式のトイレについては排泄物を一斗缶に移し替えて、当会会員や町職員有志で額平川の渡渉を繰り返しながら担ぎ降ろすという作業を行って参りましたが、令和4年度より日高山脈の国立公園化などを踏まえ、幌尻山荘周辺のトイレ環境の転換を行うには絶好の好機と考え、関係機関とも協議し下記のような使用方法に改めました。

山荘内ではバイオトイレと併用しつつ、これまでの貯留式トイレを 携帯トイレ用ブースとして活用し、貯留式トイレは廃止する。

また、携帯トイレの使用については登山者への普及啓蒙が必要な状況であり、臭いの発生などから使用済みの携帯トイレの山中への投棄という新たな問題も発生しております。このため当会としては使用済みの携帯トイレの廃棄場所を山荘内に設置し、一定量が溜まったら会員が担ぎ降ろす方法をとることで懸念される山中への投棄を防ぐこととしました。このため昨年より下記の通りに登山者の皆様より一定額の負担金をお願いしているところであります。

協力金として1泊あたり1,000円をご負担いただいています。

（内訳として 携帯トイレ1個（500円相当）と処理費（500円））

※日帰り登山の方も宿泊者に準じた負担をお願いしています。

しかしながら、本年については小屋開き当初より水力発電機の故障（原因については不明、今シーズンの復旧は現時点で絶望的）であり、利用者の皆様は殆どの排泄を携帯トイレで行っている状況です。このため山荘内での携帯トイレの利用が当初想定から著しく増加し、当然に投棄される使用済携帯トイレの数も相当量になっておりますが、増加する使用済み携帯トイレを山荘内に放置するわけにはいかず、これまで毎週末ごとに当会会員が山荘内の使用済み携帯トイレを回収して担ぎ下ろしております。これまでの実態として1週間で40ℓのゴミ袋で10袋程度が溜まっています。これに加えて入山時には、衛星携帯・無線等外部との連絡手段、夜間の山荘内の照明の電源確保のため稼働させているにエンジン発電機の燃料も荷上げしており、額平川の渡渉を重量物を背負って往復することは相当の労力を要し、また車輛の燃料費やゴミとしての処理料や日当等の経費もかかりますが、登山者の皆様に快適な山荘環境を提供するために当会としてもこれまで可能な限りの努力を続けてまいりました。

このようななかで、これまでの山荘利用者の皆様、特に女性登山者は小用も携帯トイレで行わなければならないといった不便が生じることや、山荘内に投棄される使用済み携帯トイレの数が当会の予想を超える量となり、早々に処理数の限界に達することが懸念されたため、当会として検討した結果、山荘内への電源供給用のエンジン発電機に加えて、予備のエンジン発電機をバイオトイレへの電源供給のため稼働させることとしました。これに伴い荷上げする燃料用のガソリンも増加し、歩荷等の経費も増えることとなりますので、これまで通りの協力金の使途では山荘の運営は困難な状況になっております。このため令和5年8月21日（月）より下記の通りに変更することとします。

①協力金1,000円については全額をバイオトイレ使用料とする。

②携帯トイレは登山者負担とし山荘内で購入（1個500円）するか各自持参する。

③山荘内の回収ボックスに投棄する場合は、1個500円を処理料として負担する。

（※取水ダムの回収ボックスに投棄する場合には処理料はかかりません）

利用者の皆様には、何かとご不便をおかけしますが、事情ご賢察のうえご協力のほどよろしくお願い申し上げます。